

第5期

今金町地域福祉実践計画

(平成27年度～32年度)



策定：平成27年4月

評価：平成29年3月（第2回）

今金町社会福祉協議会

目 次

第1章

■計画策定にあたって	1
■計画の位置づけ	2
■構成概要	3

第2章 法人運営～組織の強化と連携の輪～

1. 人材育成と体制整備

(1) 事業企画・組織運営に係るマネジメントスキルの習得・向上	4
(2) 専門スキル向上のため研修機会の確保	4
(3) リスクマネジメント体制の確立と一層の充実に向けた研修機会の確保	4
(4) 法人運営の透明性の確保	4
(5) 苦情処理体制の整備	5
(6) 生活支援コーディネーターの養成配置	5

2. 関係機関との情報共有・連携

(1) 地域包括支援センター	6
(2) 民生委員児童委員協議会	6
(3) 介護保険・障害福祉関連事務所	6
(4) 福祉の相談窓口体制確立の連携協力	6

3. 役職員の意識啓発と各種会議の活性化

(1) 理事会	7
(2) 評議員会	7
(3) 委員会	7
(4) 職員会議	7

4. 福祉の普及啓発（各種計画）

(1) 社協だよりの定期発行	8
(2) 町内行事への積極的参加と福祉啓発	8

第3章 地域福祉活動推進～支え合いの仕組み～

1. 住民主体の相互支え合い体制づくり

(1) 福祉教育の推進	9
(2) ふれあいきいきサロン	9
(3) 支え合い活動の推進	9
(4) ふれあいつながりづくり	9
(5) 機器・備品等貸出事業	10
(6) 赤い羽根共同募金運動の推進	10
(7) 自治会町内会連合会活動支援（事務局）	10
(8) 老人クラブ活動支援（事務局）	10

2. ボランティアの推進・普及と充実

(1) 情報の収集・提供・相談等活動のコーディネート	11
(2) 新たなボランティアの発掘と育成	11
(3) 一人でもできるボランティアの推進	11

(4) 活動者へのサポート	11
---------------	----

3. 子育て支援

(1) 仕事と子育て両立支援	12
(2) 子育て世帯の経済的負担の軽減と支援	12
(3) ひとり親家庭の見守り支援活動	12

4. 防災・減災活動の推進

(1) 災害時要援護者支援の体制整備	13
(2) 自主防災組織の体制確立	13
(3) 災害時の支援体制確立	13

第4章 在宅福祉サービス～生活を支える～

1. 介護予防

(1) 高齢者の生きがい・役割づくり	14
(2) リハビリ・栄養・口腔ケア等専門職との連携	14

2. 生活支援総合事業

(1) 外出支援サービス事業	15
(2) 備品等貸出事業	15
(3) 制度対象外独自支援事業	15
(4) 行政福祉サービスとの形態連携	15

3. 高齢者介護支援

(1) 訪問介護事業	16
(2) 通所介護事業	16
(3) 居宅介護支援事業	16

4. 障がい者生活支援

(1) 居宅介護・重度訪問介護事業	17
(2) 地域支援事業の実施	17
(3) 身体障害者福祉協会運営支援（事務局）	17

第5章 あんしんサポート～安心の仕組み～

1. あんしんサポートセンター運営

(1) 心配ごと相談事業	18
(2) 成年後見支援事業	18
(3) 日常生活自立支援事業	18
(4) 生活応急資金貸付事業	19
(5) 生活福祉資金貸付事業	19

2. 認知症支援

(1) 認知症家族介護者の会「おたがいさま」活動支援	20
(2) 認知症サポーター養成協力・連携	20
(3) 認知症見守り支援事業協力	20

■計画策定にあたって

近年我が国は、人口の減少、急速な高齢化が進行しつつあり、地域の活力低下が危惧されています。平成22年の国勢調査では、総人口に占める65歳以上人口の割合は23%となり、4人に1人が高齢者という状況ですが、今後さらに進展して、3人に1人が高齢者という時代を迎えることとなります。

特に地方においては、人口減少や高齢化の進展に伴い、教育や医療、買い物など、生活に必要な機能を“まち”に維持していくや、町内会などの地域のコミュニティを維持していくことが困難となります。

将来に向けて、どのようにして地域を維持していくかという“福祉のまちづくり”が課題となっています。

今金町においては、平成22年の国勢調査における、総人口は6,186人、総人口に占める65歳以上人口の割合は33.1%と、高齢化の傾向はより顕著となっています。こうした状況の下で、医療・福祉の取り組み、地域コミュニティの取り組みに加えて、地域包括支援センターの設立、今金町健康増進計画の策定、デマンドバスの運行など、さまざまな福祉の取り組みが進められてきました。

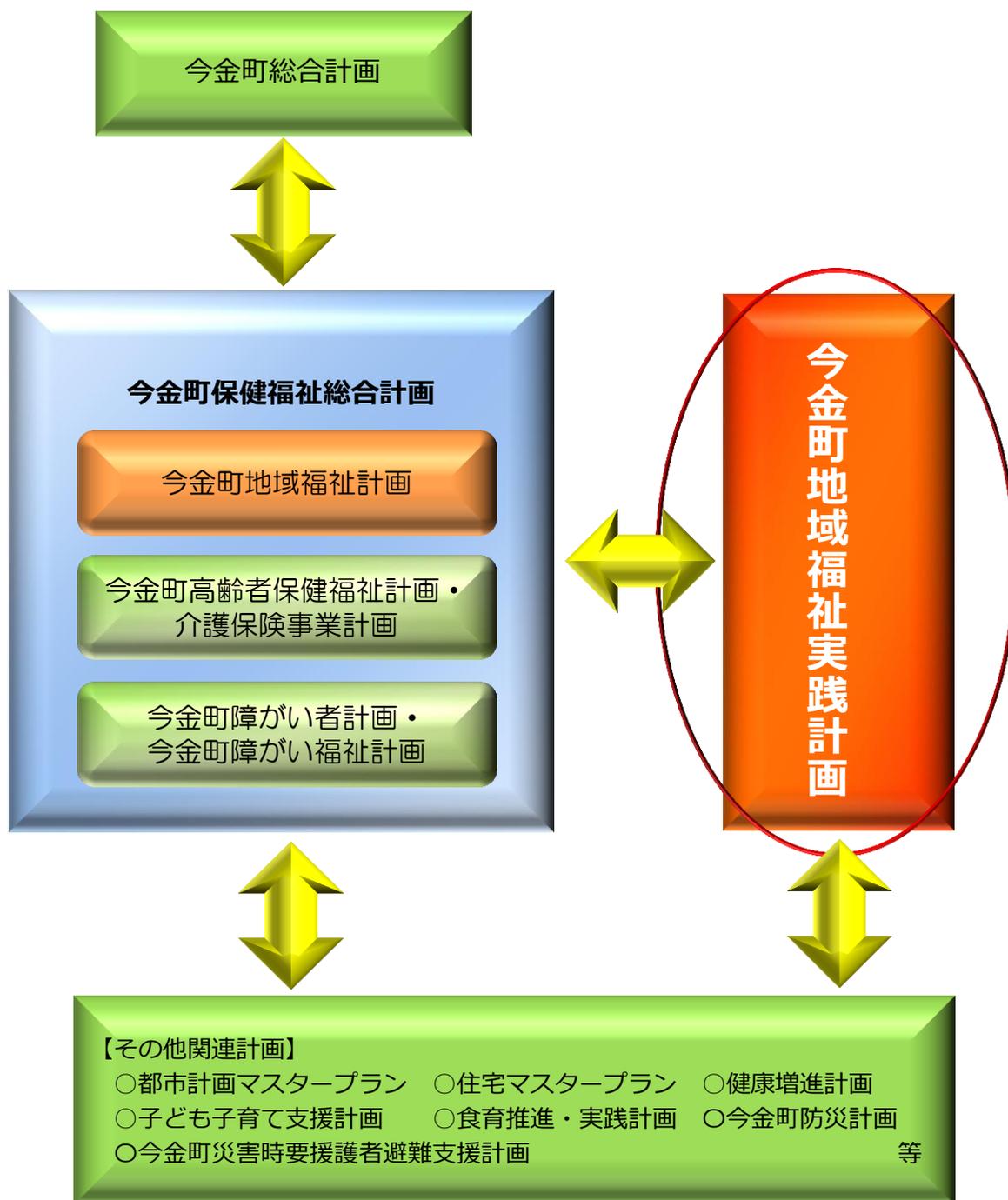
しかしながら、今後ますます増大する福祉の課題に向き合い、住み慣れた自分の地域で、元気に暮らし続けることができるまちづくりを実現するためには、「自分でできることは自分で（自助）」を基本とし、「地域のつながり・助け合い（共助）」の関係の充実を図っていくことが求められます。かつては「家族」という関係の中に、子どもをしつれたり、年老いた親の面倒をみたり、家族の伝統を継承したり、さまざまな機能が働いていました。家族という単位が縮小した今は、地域という単位でいろいろな役割をお互いに担い、機能させていくことが必要です。

そのため、地域の担い手として、若い人達はもちろん、高齢者も含めてすべての人達が参加する“福祉のまちづくり”を目指し、地域に住む人たちが知恵を出し合い、計画し、実践していくための指針として、「今金町保健福祉総合計画」と連動を図りながら本計画を策定します。



■計画の位置づけ

本計画は下図に示すとおり、今金町の総合計画や福祉関連計画、その他地域の様々な計画と関連しながら、さまざまな施策を展開していくものとなります。



今金町社会福祉協議会「地域福祉実践計画」構成概要

「組織の強化と連携の輪」 ～法人運営～

■ 人材育成と体制整備

- ・ 事業企画・組織運営に係るマネジメントスキルの習得・向上
- ・ 専門スキル向上のため研修機会の確保
- ・ リスクマネジメント体制の確立と一層の充実に向けた研修機会の確保
- ・ 法人運営の透明性の確保
- ・ 苦情処理体制の整備
- ・ 生活支援コーディネーターの養成配置

■ 関係機関との情報共有・連携

- ・ 地域包括支援センター
- ・ 民生委員児童委員協議会
- ・ 介護保険・障害福祉関連事務所
- ・ 福祉の相談窓口体制確立の連携協力

■ 役職員の意識啓発と各種会議の活性化

- ・ 理事会
- ・ 評議員会
- ・ 委員会
- ・ 職員会議

■ 福祉の普及啓発（各種計画）

- ・ 社協だよりの定期発行
- ・ 町内行事への積極的参加と福祉啓発

「支え合いの仕組み」 ～地域福祉活動推進～

■ 住民主体の相互支え合い体制づくり

- ・ 福祉教育の推進
- ・ ふれあいいきいきサロン
- ・ 支え合い活動の推進
- ・ ふれあいつながりづくり
- ・ 機器・備品等貸出事業
- ・ 赤い羽根共同募金運動の推進
- ・ 自治会町内会連合会活動支援(事務局)
- ・ 老人クラブ活動支援(事務局)

■ ボランティアの推進・普及と充実

- ・ 情報の収集・提供・相談等活動のコーディネート
- ・ 新たなボランティアの発掘と育成
- ・ 一人でもできるボランティアの推進
- ・ 活動者へのサポート

■ 子育て支援

- ・ 仕事と子育て両立支援
- ・ 子育て世帯の経済的負担の軽減と支援
- ・ ひとり親家庭の見守り支援活動

■ 防災・減災活動の推進

- ・ 災害時要援護者支援の体制整備
- ・ 自主防災組織の体制確立
- ・ 災害時の支援体制確立

「生活を支える」 ～在宅福祉サービス～

■ 介護予防

- ・ 高齢者の生きがい・役割づくり
- ・ リハビリ・栄養・口腔ケア等専門職との連携

■ 生活支援総合事業

- ・ 外出支援サービス事業
- ・ 備品等貸出事業
- ・ 制度対象外独自支援事業
- ・ 行政福祉サービスとの形態連携

■ 高齢者介護支援

- ・ 訪問介護事業
- ・ 通所介護事業
- ・ 居宅介護支援事業

■ 障がい者生活支援

- ・ 居宅介護・重度訪問介護事業
- ・ 地域支援事業の実施
- ・ 身体障害者福祉協会運営支援(事務局)

「安心の仕組み」 ～あんしんサポート～

■ あんしんサポートセンター運営

- ・ 心配ごと相談事業
- ・ 成年後見支援事業
- ・ 日常生活自立支援事業
- ・ 生活応急資金貸付事業
- ・ 生活福祉資金貸付事業

■ 認知症支援

- ・ 認知症家族介護者の会「おたがいさま」活動支援
- ・ 認知症サポーター養成協力・連携
- ・ 認知症見守り支援事業協力



「組織の強化と連携の輪」

1. 人材育成と体制整備（地域福祉計画・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・障がい者計画・障がい福祉計画）							
(1) 事業企画・組織運営に係るマネジメントスキルの習得・向上		実践評価シート（○・△・×）					
内容		27	28	29	30	31	32
①組織管理職向け研修会への参加	△	実施しているがまだ不十分。次年度以降更なるネットワーク構築に取り込む。	○	各事業の課題などの把握に努め、改善にむけた取り組みを積極的に行った。継続して取り組んでいきたい。			
②他職域とのディスカッションを通じた新事業の創出							
③職内における定期的な業務進捗状況の把握と進行指導・管理							
(2) 職員の専門スキル向上		実践評価シート（○・△・×）					
内容		27	28	29	30	31	32
①必要な専門資格の取得促進	△	個人単位で資格の取得に向け取り組んでいるが、法人として促進につながる具体的な支援までは出来ていない。また、社協職員としての心構えについても、今後継続して意識付けに取り組んでいきたい	△	①昨年度同様十分な促進対策はできていない。次年度以降、資格手当の検討や役職ごとの役割の明確化を図っていきたい。②日常の会議等で職員へ周知している。			
②社協職員としての心構えの刷り込み							
(3) リスクマネジメント体制の確立		実践評価シート（○・△・×）					
内容		27	28	29	30	31	32
①管理職員向け研修会への参加	○	今金町感染対策対策連絡会議に参画し、感染予防に取り組んでいる。また、今年度から取り組みを強化した「ふれあいファミリーサポート事業」では、小児科度の多くなることで理解と協働により、安心して事業が実施出来る体制を構築することができた。	○	昨年度同様に実践できている。			
②危機管理意識の向上を図るための勉強会の開催							
(4) 法人運営の透明性の確保		実践評価シート（○・△・×）					
内容		27	28	29	30	31	32
①サービスの自己評価に基づく公表	○	制度の改正により、社会福祉法人の財務状況や運営などの透明性の確保に向け、今年度はホームページの開設準備を行った。また、本計画に基づき、実施している事業や財務状況について公表する仕組みが出来ている。	○	今年度からは、新たにインターネットソーシャルネットワークサービスを活用し、法人の取り組み状況について広く公表することができた。平成29年度から改正される社会福祉法に基づき、引き続き法人運営の透明化を			
②事業内容や財務状況を広く周知できる仕組みの検討							

「組織の強化と連携の輪」

1. 人材育成と体制整備（地域福祉計画・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・障がい者計画・障がい福祉計画）

(5) 苦情処理体制の整備		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①苦情処理対応マニュアルに基づく実施	△	△	昨年同様、具体的な苦情対応事例がない。				
②苦情処理責任者及び第三者委員の研修等への参加							
(6) 生活支援コーディネーターの養成・配置		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①地域福祉を推進するコミュニティソーシャルワーカーの育成	○	○	今年度から「生活支援コーディネーター」業務を法人として受託し、ニーズ調査の結果検証や対応について、職員間で協議を行った。				

「組織の強化と連携の輪」

2. 関係機関との情報共有・連携（地域福祉計画・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・障がい者計画・障がい福祉計画）

(1) 地域包括支援センター		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①地域ケア会議	○	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 十分な連携が図られている。今年度は、「生活支援体制整備事業」協議体の活動を通じて必要な協議が行えた。 </div>				
②要支援者の把握（災害時要援護者支援・救急カード・各福祉サービス）							
③あんしんサポートセンターケース検討会議							
④生活支援体制整備事業 協議体（H28年度から）							
(2) 民生委員児童委員協議会		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①定例会議への出席	○	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 昨年度同様、とても連携が図られている。 </div>				
②社協役職員との交流研修会（地域福祉研修会）の開催							
③生活困窮者支援							
④各種事業等の相互協力							
(3) 介護保険・障害福祉関連事業所		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①介護保険事業所連絡協議会	○	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 昨年度同様に連携が図られている。特に今年度明記した「今金高等養護学校」については、ボランティア活動内容を提案し、実践につながるなどの成果が得られた。来年度以降、更なる推進に取り組みたい。 </div>				
②ケアマネ交流会							
③社会福祉法人（ひかりの里・豊寿園）							
④相談支援事業所ひかり							
⑤今金高等養護学校（H28年度より明記）							
(4) 福祉の総合窓口としての体制確立へ向けた連携協力		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	

■法人運営

「組織の強化と連携の輪」

2. 関係機関との情報共有・連携（地域福祉計画・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・障がい者計画・障がい福祉計画）

①保健福祉課との協働による福祉総合窓口の充実に向けた検討



保健福祉課の多様な理解のもと、
需に合わせた対応が、スムーズな対
応が出来る。



昨年度同様にスムーズな対応が出来る。

「組織の強化と連携の輪」

3. 役職員の意識啓発を目的とした各種会議の活性化

(1) 理事会		実践評価シート (○・△・×)					
内容		27	28	29	30	31	32
①理事・監事の役割の明確化と機能強化	○	今年度は役員向けの学習会を計4回開催し、役割意識の啓発につながった。次年度以降も継続して取り組む。	△	役員向け学習会が開催できなかった。			
②地域福祉学習会の開催							
(2) 評議員会		実践評価シート (○・△・×)					
内容		27	28	29	30	31	32
①地域の特性を踏まえた地区ごとの課題の集約と速やかな審議	△	年々開催する会議においては、地区の状況などについて集約できるような活発な意見交換はできていないのが現状ではあるが、「自治会町内会連合会」の事務局を受け持っていることで、地域の課題などについて、集約し協議する機会を作ることが出来つつある。	△	昨年度同様に評議員会席上ではその達成には至っていないが、各地区の会長さんとのつながりにより、情報収集が図られるようになった。			
(3) 委員会		実践評価シート (○・△・×)					
内容		27	28	29	30	31	32
①各種委員会の所管事項、構成の再検討	△	左記の内容には取り組むことは出来なかったが、役員全員により開催した役員協議会では、社協の財源確保のための検討を行い、特別会員の新規加入企業を確保するなどの成果を得ることができた。	△	昨年度同様に、十分な取り組みは行えていない。			
②事業担当役員の設置検討							
(4) 職員会議		実践評価シート (○・△・×)					
内容		27	28	29	30	31	32
①部門ごとの連携強化を目指した内部の情報共有の徹底	△	月1回全体会議を開催し内部の連携強化、情報共有は図られているが、ニーズを踏まえたため、サービス開発につながるような仕組みは十分には見えない。H28年度から実施する「生活支援コーディネーター」の業務委託をきっかけとして、仕組みを構築していきたい。	○	今年度「ニーズ検討企画グループ」を立ち上げ、ニーズ調査に基づく検証やサービス検討が積極的に行えた。			
②ニーズ検討、サービス（事業）開発会議の積極的な開催							

「組織の強化と連携の輪」

4. 福祉の普及啓発（地域福祉計画・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・障がい者計画・障がい福祉計画）

(1) 社協だよりの定期発行	実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32
①わかりやすい福祉に関する情報の発信	△	○	<p>若年世代の方からの問い合わせが増加傾向にあり、社協だよりが福祉に関する情報発信として機能してきている。</p>			
②地域の課題を町民全てが共有できるツールとしての役割強化						
(2) 町内行事への積極的な参加による福祉啓発	実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32
①今金町総合文化祭への参加	○	○	<p>今年度は、商工会青年部が主催する「いいとこ祭り」に参加させていただき、赤い羽根ピンバッジを販売した。</p>			
②他団体が開催するイベントへの参画						

月1回、社協だよりを発行し情報発信は行っているが、町民に対して課題を提起するツールとしては、まだ不十分であり、次年度以降は更なる充実が必要。

今年度は、農協の「年金友の会」のイベントに参加させていただき、赤い羽根共同募金「いまじんピンバッジ」の募金活動を実施し、例年よりも幅広く活動することができた。次年度も新たなつながりを求めて積極的に取り組んでいきたい。

■地域福祉活動推進

「支え合いの仕組み」

1. 住民主体の相互支え合い体制づくり（今金町総合計画・地域福祉計画・高齢者保健福祉計画）						
(1) 福祉教育の推進		実践評価シート（○・△・×）				
内容	27	28	29	30	31	32
①小学校福祉の学習	○	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 業務スタッフも含めて全員で取り組んでおり、実施出来ている。 </div>			
②檜山北高家庭看護福祉実習指導						
③福祉の出前講座						
(2) ふれあいいきいきサロン		実践評価シート（○・△・×）				
内容	27	28	29	30	31	32
①立ち上げ支援	△	△	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 本会で関連する助成金等の情報提供のみに止まっている。次年度以降は関係機関等が実施している情報も含めて、一覧にまとめるなどしながら、情報提供に一層強化して取り組みたい。 </div>			
②運営支援						
③集いの場の開設（ミニデイサービス）						
(3) 支え合い活動の推進		実践評価シート（○・△・×）				
内容	27	28	29	30	31	32
①小地域福祉活動（地域の中で行う見守り・支え合いの活動）	△	△	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> リサイクル事業については、町民から大変喜ばれている事業になっているが、用具等の保管場所が限られており、保管場所の検討が必要。 </div>			
②福祉用具・育児用品・子ども服リサイクル						
(4) ふれあいつながりづくり		実践評価シート（○・△・×）				
内容	27	28	29	30	31	32
①ふれあいパークゴルフ大会	○	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 順調に事業が実施できた。 </div>			
②ふれあいはがき郵送事業						
③ふれあい交流会（老人クラブ連合会との共催）						
(5) 機器・備品等貸出事業		実践評価シート（○・△・×）				

■地域福祉活動推進

「支え合いの仕組み」

1. 住民主体の相互支え合い体制づくり（今金町総合計画・地域福祉計画・高齢者保健福祉計画）

内容	27	28	29	30	31	32
①レクリエーション用具貸出	○	○	<p>概ね順調に出来ているが、小型除雪機については、貸出実績がなく処分をすることになる。 新規掲載として「長寿祝着貸出事業」を追加しました。</p>			
②縁日用品貸出（自治会町内会連合会との共催）						
③小型除雪機貸出						
④長寿祝着貸出事業（新規）						
（6）赤い羽根共同募金運動の推進	実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32
①募金による福祉の支え合い意識の啓発	○	○	<p>町民の皆様の絶大なるご協力により、今年度も目標額を達成した。 しかしながら、社会情勢の変化により、町民の皆様の負担感が増加傾向にあることを踏まえ、来年度から、毎年12月に実施している「歳末たすけあい運動」募金を廃止することにしたい。</p>			
②地域福祉事業を支える財源の確保						
（7）自治会町内会連合会（事務局）	実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32
①社協が事務局だからできること、「付加価値」の追求	○	○	<p>昨年に引き続き「町内会・自治会運営に関する困りごと解決事業」で課題などについて協議することができた。 更なる推進に取り組んでいきたい。</p>			
②地域を支える担い手の育成とサポート						
（8）老人クラブ活動支援（事務局）	実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32
①社協が事務局だからできること、「付加価値」の追求	△	△	<p>昨年同様、連合会事業は活発に行っているが、地区によっては解散する老人クラブが出るなど、老人クラブ活動には課題が多いのが現状。 引き続き、課題検討を行い「魅力ある老人クラブ活動」の実現に向けて取り組んでいきたい。</p>			
②自主的活動をすすめるリーダーの育成とサポート						

「支え合いの仕組み」

2. ボランティアの推進・普及と充実（今金町総合計画・地域福祉計画・高齢者保健福祉総合計画・障害者計画）

(1) 情報の収集・提供・相談等活動のコーディネート		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①多様な分野との連携によるニーズ等の情報収集	△	△	<p>活動者や活動内容の固定化が課題。新規活動者増に向けて、各団体や口コミ等の情報網を最大限に活用し、PRに取り組んでいきたい。</p>				
②活動希望者が確実に活動につながるコーディネート							
(2) 新たなボランティア発掘		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①ボランティアメニューの開発	△	△	<p>上記に同じ</p>				
②ボランティア活動体験							
(3) 一人でもできるボランティアの推進		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①リングプル回収事業	○	○	<p>とても充実した事業となっている。昨年度課題としていた、受入(回収)対応については、関係機関との協議により解決へ向けてすすめている。</p>				
②ペットボトルキャップ回収事業							
③書き損じハガキ・古切手回収事業							
(4) 活動者へのサポート		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①ボランティア交流会	×	△	<p>今年度は1回のみではあるが、ボランティア交流会を開催することが出来た。また、活動者のサポートとして、次年度は本会より活動場面へ積極的に足を運びながらサポートに取り組みたい。</p>				
②活動拠点・備品等の貸出							

「支え合いの仕組み」

3. 子育て支援（子ども・子育て支援計画）

(1) 仕事と子育て両立支援		実践評価シート (○・△・×)					
内容		27	28	29	30	31	32
①病後児の預かりを含めたファミリーサポート事業の推進	○	小児科医の全面的な協力により、体制・仕組みの構築を行うことができた。 次年度は、提供会員の充実（確保）を図りながら、緊急で利用したい場合などにすぐに対応できるように取り組んでいきたい。	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 昨年度に引き続き、小児科医の全面的なご協力により、実施できている。また、利用者も徐々に増加している。次年度は新規協力者（提供会員）の確保に向けて取り組みたい。 </div>			
②「ファミサポ交流会」の開催（H28新規）							
(2) 子育て世帯の経済的負担の軽減へ向けた支援		実践評価シート (○・△・×)					
内容		27	28	29	30	31	32
①育児用品リサイクル事業	○	町民にも定着し大変喜ばれている。 引き続き、きめ細やかな心の通ったソフト面での支援充実を図っていきたい。	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 町民からとても喜ばれている。引き続き取り組んでいきたい。 </div>			
②子ども服リサイクル事業							
③ふれあいフリーマーケットの開催							
(3) ひとり親家庭を暖かく見守り支援する活動		実践評価シート (○・△・×)					
内容		27	28	29	30	31	32
①社協サンタ	△	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 今年度は新規での申込者が2件あったこともあり、内容的にも充実した事業となった。 </div>				

「支え合いの仕組み」

4. 防災・減災活動の推進（地域福祉計画・高齢者保健福祉計画・障がい者計画・防災計画・災害時要援護者支援計画）

(1) 災害時要援護者支援の体制整備		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①日常の見守り（小地域福祉活動）の推進	△	△					
	<p>災害時の助け合い活動は、日頃のつながりが非常に大切であるが、取り組みが徹底されておらず不十分である。関係機関と連携し、取り組んで行きたい。</p> <p>自治会町内会連合会や今金町とも協議しながら取り組みを検討していきたい。</p>						
(2) 自主防災組織の体制の確立		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①地区の状況に応じた避難方法の検討	△	△					
	<p>いざというときに有効な組織として機能できるよう、関係機関と連携を図りながら一緒に考えていきたい。</p> <p>今金町が主催する「防災を考えるつどい兼合同避難訓練」に参加はしたものの、体制の確立を図るまでの具体的な取り組みは出来ていないのが現状である。上記に同じく関係機関と協議をしながらその実現に向けて取り組んで行きたい。</p>						
(3) 災害時の支援体制の確立		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①北海道社会福祉協議会との災害救援協定の締結							
②災害時対応マニュアルの整備	×	△					
	<p>実施できていない。災害時、社協としてどう動くべきかH28年度から検討を開始する。</p> <p>今年度は、北海道社会福祉協議会が主催する「災害救援協定締結に向けた連絡会議」に参加し検討を行うことができた。次年度は、具体的な対応マニュアルの製作に取り組んで行きたい。</p>						

「生活を支える」

1. 介護予防							
(1) 高齢者の生きがい・役割づくり		実践評価シート (○・△・×)					
内容		27	28	29	30	31	32
①老人クラブ支援事業	△ 介護保険制度の改正で、今後ますます地域の中で支え合う仕組みが必要となる。そのためには、「担い手」の発掘・育成が重要であり、重点課題として次年度以降取り組みを強化していきたい。	△	前述で記載したとおり、老人クラブの課題などから、達成までにはかなりの時間を要することが考えられるが、地域の力がなければこれからは高齢者を支えられなくなるため、体制づくりに地道に取り組んでいきたい。				
②高齢者自身の担い手づくり							
(2) リハビリ・栄養・口腔ケア等専門職との連携		実践評価シート (○・△・×)					
内容		27	28	29	30	31	32
①介護予防教室の開催の視点を取り入れた事業の実施	△ 保健福祉課を通じて作業療法士、栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士などとの連携が図られており、健康をテーマにした研修会を開催している。継続して実施していきたい。	△	年に1回老人クラブ連合会との共催により交流学習会を開催しているが、その1回に止まっている。				

■在宅福祉サービス

「生活を支える」

2. 生活支援総合事業						
(1) 外出支援サービス事業	実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32
①普通車輻では移動が困難な方の外出・社会参加機会の確保	○	○	町内の環境の変化により、平成29年4月30日をもって福祉有償運送業務の登録を終了することになる。			
	○	○				
(2) 備品等貸出事業	実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32
①福祉車両	○	○	昨年に引き続き、順調に実施出来ている。			
②車いす	○	○				
(3) 制度対象外独自支援事業	実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32
①介護保険外ホームヘルプサービス「いきいきヘルプ おたすけ隊」	△	△	左記に記載の検討項目には取り組めていないのが現状であるが、今年度は入浴見守りに関する事業(ぬくぬくクラブ)の実証実験を行い、サービス開発の検討が行えた。			
②宅老サービスの検討						
③安否確認サービスの検討						
(4) 行政福祉サービスとのサービス形態連携	実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32
①配食サービスとの連携検討	×	×	昨年に引き続き、十分なサービス連携には至っていない。次年度以降も検討を行って行きたい。			
②安心電話サービスとの連携検討						
③除雪サービスとの連携検討						

「生活を支える」

3. 高齢者介護支援（介護保険事業計画）

(1) 訪問介護事業		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①「可能な限り在宅で」を目指した生活サポートの推進	△	概ね実施はできている。引き続き最高のサポートができるように、職員の研修機会の充実を行いながら、スキルアップを目指して取り組んでいきたい。	△	<p>利用者へのサポートという面では概ね実施出来ている。しかし、経営については非常に厳しい状況となっており、次年度以降は経営の健全化に取り組む。</p>			
②ニーズに対応できるヘルパー人材の確保							
③職員のスキルアップ							
(2) 通所介護事業		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①利用者の生きがいづくりの推進	△	利用者様個人個人の趣味に合わせた活動などに取り組むなど、概ね実施はできている。引き続き最高のサービスができるように、職員の研修機会の充実を行いながら、スキルアップを目指して取り組んでいきたい。	△	<p>介護保険制度の改正により、軽度者のサービス利用のあり方が検討されており、取り組みは十分ではない。次年度以降も制度の趣旨に基づき取り組んでいきたい。</p>			
②家族の負担軽減等を目的とした柔軟な対応や支援体制の確立							
③職員のスキルアップ							
(3) 居宅介護支援事業		実践評価シート (○・△・×)					
内容	27	28	29	30	31	32	
①利用者の意向に沿ったケアプラン（介護支援計画）の作成	△	概ね実施はできている。介護保険制度上でのケアマネジャーの役割は非常に大きく、単に利用者の意向に沿うだけでなく、利用者ご自身のサポートは何かを追求し、取り組むことが求められており、引き続き、職員の研修機会の充実を行いながら、上級資格取得を行いながらスキルアップを目指して取り組んでいきたい。	△	<p>概ね実施できているが、昨年度評価にも記載したとおりケアマネの役割の重要性を年頭におき、上級資格の取得の検討を行う。</p>			
②在宅ケアマネの情報・課題共有のための「ケアマネ交流会」の開催							
③職員のスキルアップ							

■在宅福祉サービス

「生活を支える」

4. 障がい者生活支援（障がい者計画・障がい福祉計画）

(1) 居宅介護・重度訪問介護事業（障がい者ヘルプサービス）		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①日常生活の支援を目的とした障がい者ホームヘルプサービスの推進	○	○	<p>昨年同様、利用実績は上がっている。更に取り組みを強化するため、新規利用者の働きかけを行って行きたい。 また、町内の障がい者の実情についても改めて学習機会を作るなどしながら、本会ができることを検討していきたい。</p>				
②町内の実情把握のための学習会の開催（H29新規）							
(2) 地域支援事業の実施		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①生活サポート事業	△	△	<p>昨年に引き続き、現段階での実績はないが、要望が出てきた場合に対応できる体制を整えておきたい。</p>				
②移動支援事業							
(3) 身体障害者福祉協会運営支援（事務局）		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①つどいの場「お茶のみ会」の定例開催などによる社会参加の促進	○	○	<p>順調に取り組んでいる。引き続き新規会員加入促進のためのPR活動を積極的に行って行きたい。</p>				
②新規会員の加入促進を目的とした積極的な呼びかけ							

年々徐々に実績が増えており、今後は需要が増加する見込みがあり、拡大していきたい。

現段階でのニーズは少ないが、今後は需要が増加する見込みがあり、拡大していきたい。

会の運営は活発に行われている。保健福祉課に協力をいただきながら引き続きPR活動に取り組んでいきたい。

「安心の仕組み」

1. あんしんサポートセンター運営（高齢者保健福祉計画・障がい者計画）								
(1) 心配ごと相談事業		実践評価シート（○・△・×）						
内容	27	28	29	30	31	32		
①アウトリーチの徹底による相談支援機能の充実	○	この事業をきっかりとし、生活に不安を抱えていたり、支援の必要性がある方と関わるとても良い機会となっている。引き続き、積極的にアウトリーチの徹底を行っていきたい。	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 個人はもちろん、各企業や関係機関からの相談も増えてきており、順調に取り組んでいる。 </div>				
②各事業への迅速かつ円滑なつなぎの実施								
(2) 成年後見支援事業（町受託事業）		実践評価シート（○・△・×）						
内容	27	28	29	30	31	32		
①法人後見の確実な実施	△	センター立ち上げ後、法人後見の受託までには至っていないが、今年度は弁護士や司法書士、行政書士などの専門職、金融機関等、関係機関とのつながりづくりを行うことができた。次年度は、現に関わっている方の成年後見制度の利用の手続きを行っていったり、親族後見人との関わりを持つ動きかけを行って行きたい。	△	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 法人後見の受託実績は0ではあるが、今年度は、1名の成年後見制度への利用調整を行うことができた。また、後見支援員フォローアップ研修の開催や、法テラス弁護士等との連携は十分に図られている。 </div>				
②後見支援員のサポート（フォローアップ研修、相談支援）								
③親族後見人のサポート								
④関係機関・専門職との連携（ケース検討会議・研修会講師等）								
(3) 日常生活自立支援事業（道社協受託）		実践評価シート（○・△・×）						
内容	27	28	29	30	31	32		
①生活支援員の確保・サポート（養成研修、相談支援）	○	成年後見制度につながる前段の制度として、有効に事業が実施されている。引き続き、推進していききたい。	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 本事業の支援が必要な方との関わりが行えており、有効な事業運営が行えている。 </div>				
②関係機関・専門職との連携（ケース検討会議・研修会講師等）								

「安心の仕組み」

1. あんしんサポートセンター運営（高齢者保健福祉計画・障がい者計画）							
(4) 生活応急資金貸付事業		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①つなぎ資金としての役割の徹底	○	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 10px;"> 昨年度に引き続き、利用実績は少ないが、左記の役割を十分に果たしている。 </div>				
②生活のしづらさ・不安を抱える人達への関わりのきっかけづくり							
(5) 生活福祉資金貸付事業（道社協受託）		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①用途に応じた資金の紹介とつなぎ	○	○	<div style="border: 2px solid green; padding: 10px;"> 上記に同じ </div>				

「安心の仕組み」

2. 認知症支援（高齢者保健福祉計画）							
(1) 認知症家族介護者の会「おたがいさま」活動支援		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①「おたがいさま」の加入促進	△	事業等への協力は行っているが、まだ連携が不十分である。「おたがいさまの会」へ定期的に参加するなどにより、つながりを深めていきたい。	×	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 今年度も「おたがいさまの会」に参加することができなかった。次年度は所管課である保健福祉課と協議して取り組んでいきたい。 </div>			
②事業等への協力							
(2) 認知症サポーター養成協力・連携		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①地域への正しい理解と普及活動	△	社協としての普及活動はほぼ実施されておらず、不十分である。上記のとおり取り組みを強化するほか、老人クラブ連合会との共催により、具体的な取り組みを検討していきたい。	△	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 今年度は、社協役員と民生委員との研修会で「認知症徘徊模擬訓練」をテーマに実施するなど、関係者への普及活動には取り組むことができたが、地域全体への普及は不十分である。 </div>			
(3) 認知症見守り支援事業協力		実践評価シート（○・△・×）					
内容	27	28	29	30	31	32	
①見守り支援ネットワーク会議（仮称）への参画	×	できていない。次年度は、地域包括支援センターと連携し、左記ネットワーク構築にむけた検討を行っていただきたい。	△	<div style="border: 2px solid green; padding: 5px;"> 上記に記載のとおり、ネットワーク会議の足がかりとなる研修会を開催することができた。次年度以降で具体的な取り組みを関係機関と一緒に取り組んでいきたい。 </div>			